

第 22 回日本独文学会・DAAD 賞選考結果
Bekanntgabe der Entscheidung zur Vergabe des 22. JGG-DAAD-Preises

第 22 回日本独文学会・DAAD 賞が下記のよう に決定しましたので、お知らせいたします。

日本語研究書部門：

- ・宇和川 雄
『ベンヤミンの歴史哲学 — ミクロロギーと普遍史』（人文書院）

日本語論文部門：

- ・小野寺 賢一
ヘルダーリンの詩作における「発信源 (Adressant)」と作者との関係 — 未完の頌歌「詩人の勇気 (Muth des Dichters)」の草稿群と「詩人の勇気 (Dichtermuth)」ならびに「臆心 (Blödigkeit)」について— (*Neue Beiträge zur Germanistik* Band 21/Heft 2 『ドイツ文学』第 166 号)
- ・山口 庸子
モダニズムの芸術人形劇における異文化受容 — クレイグ, トイバー=アルプ, テシュナー — (*Neue Beiträge zur Germanistik* Band 21/Heft 2 『ドイツ文学』第 166 号)

ドイツ語研究書部門：

該当なし

ドイツ語論文部門：

- ・Jun YAMAMOTO (山本潤)
Historizität der mittelhochdeutschen Heldenepik. Eine Analyse aus der Perspektive des historiographischen Geschichtsverständnisses (*Neue Beiträge zur Germanistik* Band 21/ Heft1 『ドイツ文学』第 165 号)
- ・Thomas PEKAR
Läuterungs- und Wiedergutmachungsversuche. Hermann Kasacks Roman *Die Stadt hinter dem Strom* (1947) und die Shoah im historischen Kontext (*Neue Beiträge zur Germanistik* Band 21/Heft 1 『ドイツ文学』第 165 号)

次の方々に選考委員をお願いしました。（敬称略）

日本語部門 委員長：大宮 勘一郎（東京大学）

委員：稻葉 瑛志（三重大学）、今井 敦（龍谷大学）、岡本 順治（学習院大学）、
荻野 藏平（熊本大学名誉教授）、宍戸 節太郎（國學院大學）、眞鍋 正紀（東海大学・DAAD 推薦）、室井 祯之（早稲田大学）、山口 裕之（東京外国语大学）

ドイツ語部門 委員長：藤井 明彦（早稲田大学名誉教授）

委員：大薗正彦（静岡大学）、大田 浩司（上智大学）、香田芳樹（元慶應義塾大学）、藤繩 康弘（東京外国语大学）、柳橋 大輔（早稲田大学・DAAD 推薦）、
Kraus, Manuel（早稲田大学）、Zemsauer, Christian（上智大学）、